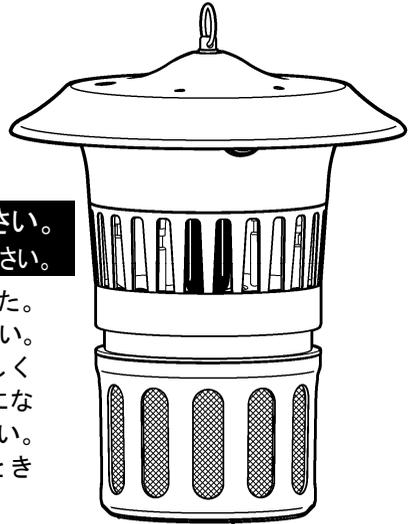


nedius

吸引式捕虫器 NMT-15B1LG

屋外仕様
(IPX4)

取扱説明書 (保証書付き)



**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要となきに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。**

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みください。
特に「**安全上のご注意**」は必ずお読みのうえ正しく
お使いください。お読みになったあとは、お使いになる
方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、
本説明書を必ずお読みください。

も く じ

安全上のご注意	1
捕虫の仕組み	4
各部の名称	5
ご使用方法	6
捕獲した虫の取出し方	6
捕虫ボックスを本体にセットする	7
誘虫ランプの交換	8
使用後のお手入れ	10
安全のための点検のお願い	11
こんなときは(故障かな?と思ったら)	12
仕様	13
別売消耗部品・補修対応部品のご案内	13
製品保証書	15

日本国内用

FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

この捕虫器は、蚊や蛾などの有害昆虫を捕獲するためのものです。
この用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、
責任を負いかねますのでご了承ください。この捕虫器は室内用です。

※ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、
『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容
ですので必ず守ってください。

⚠警告 取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生すると想定される内容です。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)



○記号は、してはいけない『禁止』
内容です。(左図は分解禁止)



●記号は、必ず実行する『強制』内容
です。(左図はプラグを抜く)

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



分解禁止

分解・改造を絶対にしない。

- * 発火や感電、ケガの原因になります。
- * 修理は販売店または弊社「お客様相談室」へご相談ください。



禁止

子供だけで使わせない。

子供に触らせたり、乳幼児の近くに設置しない。

- * やけど、感電、ケガをする恐れがあります。



禁止

本器に勢いよく水をかけたり、水没させたりしない。

- * ショートや感電、火災の原因になります。防水規格 IPX4 の生活防水構造です。



禁止

引火性の液体や気体、または粉じんのある場所で使用しない。

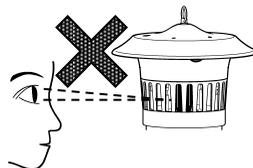
- * 発火する恐れがあります。



禁止

本器稼働時は、光源をじっと見つめない。

- * 目の痛みや視力障害の原因になります。





強制

この取扱説明書に従って使用する。
付属品は必ずメーカー指定のものを使用する。
* 事故の原因になります。



強制

異常・故障時は、すぐに使用を中止する。
●電源コードやプラグに変形、変色や損傷がある。
●電源コードの一部やプラグがいつもより熱い。
●電源コードを触ると通電したりしなかったりする。
●焦げ臭いにおいがする。
●その他の異常や故障がある。
* 発煙、発火、感電やケガの恐れがあります。
すぐに電源プラグを抜いて、販売店または「お客様相談室」へご相談ください。



強制

電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。
* プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
* ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
* 不意に作動してケガをする恐れがあります。

⚠ 注意



濡れ手禁止

濡れた手で、電源プラグやスイッチを触らない。
* 感電やケガの恐れがあります。



強制

電源は交流100V専用コンセントを使う。
使用する電源回路を事前に確認する。
* 交流100V以外の電源を使用すると、火災や感電の原因になります。
* 許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。



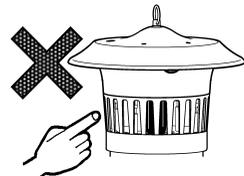
強制

使用前に目視確認をする。不具合があれば使用中止。
●電源コードの破損がないか。
●ランプが外れたり、破損していないか。



接触禁止

指または金属を虫誘引スリットに入れない。
運転中に本体内部のファンに触らない。
使用中・使用直後の誘虫ランプを触らない。
* ケガや、やけどの恐れがあります。



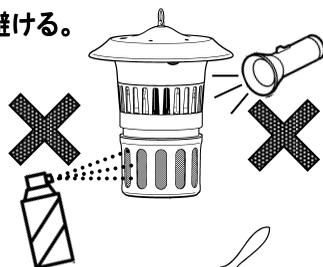
⚠ 注意



禁止

他光源(蛍光灯、懐中電灯など)の干渉を避ける。
殺虫剤を使わない。

* ショートして発火する恐れがあります。



火気禁止

火気に近づけない。

* ショートして発火する恐れがあります。



強制

定期的に捕虫ボックスの掃除をする。



強制

定期的に電源コードやプラグが傷んでいないか点検する。

電源コードの交換は、必ず製造者もしくはその代理店、
または同等の有資格者が行う。

* 危険を防止するため



禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。

電源プラグに金属片やゴミを付着させない。

* 感電やショートして発火する恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり挟み込まない。

* 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。

* コードが発熱して火災の恐れがあります。必ず伸ばした状態で使用してください。



強制

プラグをコンセントから抜く前に、必ず電源スイッチを切る。

* 感電の恐れがあります。



強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って引き抜く。

* 感電やショートして発火する恐れがあります。

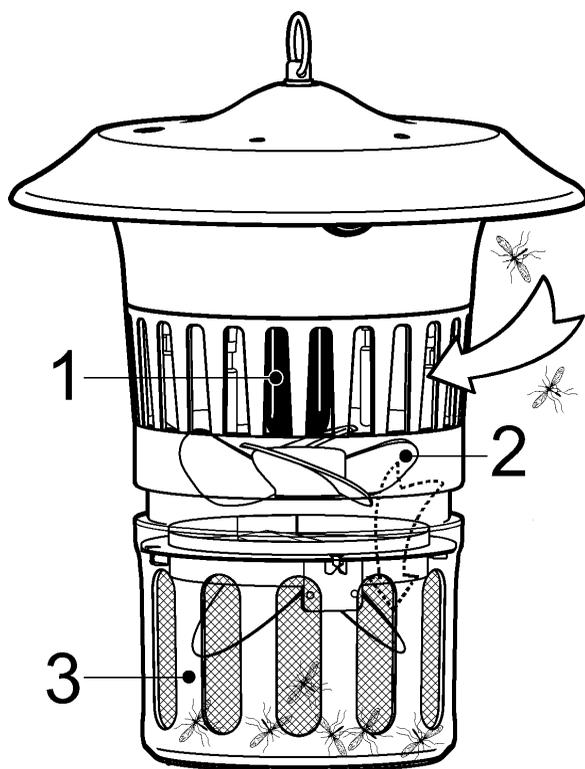
捕虫の仕組み

1. 誘虫ランプ

本器のスイッチを入れると、誘虫ランプから紫外線(光線)を発生します。昆虫は、この光線に誘われて本器に近づきます。

2. ファン

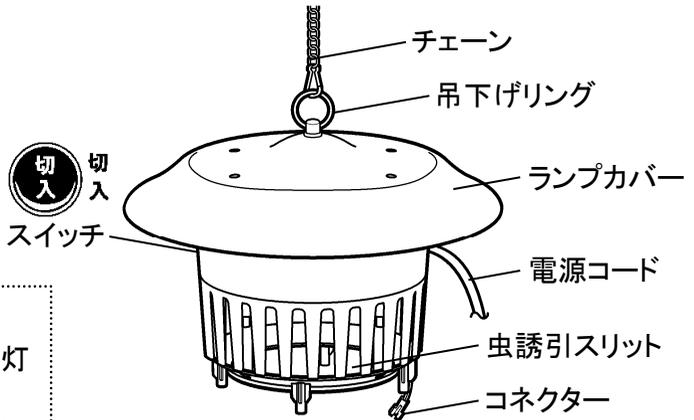
本器に近づいた虫(蚊など)は、ファンの気流で捕虫ボックスに吸込まれます。



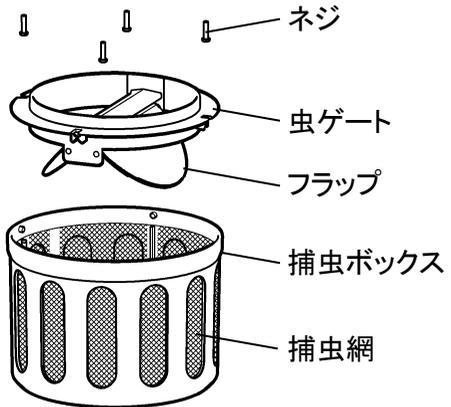
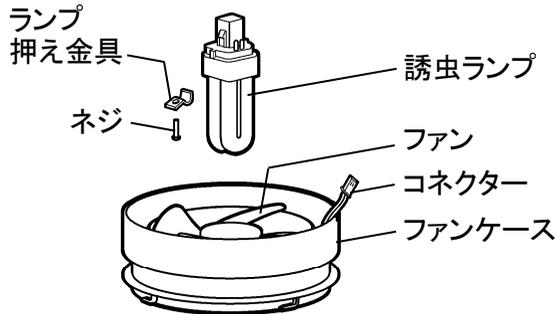
3. 捕虫ボックス

捕虫ボックスに入ると、虫は逃げられません。しばらくは生きていますが、ファンの気流によって乾燥し、やがて死んでしまいます。

各部の名称

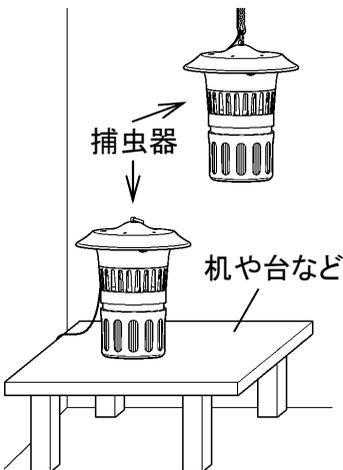


- 「入」…捕虫器起動
- ・誘虫ランプ点灯
 - ・ファン回転
 - ・フラップが開く
- 「切」…捕虫器停止
- ・誘虫ランプ消灯
 - ・ファン停止
 - ・フラップが閉じる



設置場所

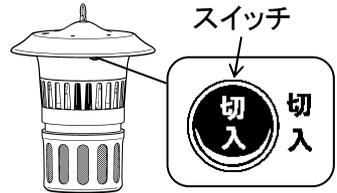
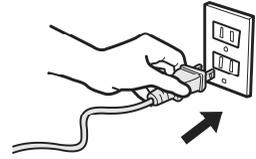
軒下などに吊るすか、
平らで安定した場所に
設置してください。



※本器は二重絶縁構造です。

ご使用方法

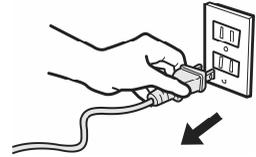
- ① 電源につなぐ
電源プラグを100Vコンセントに差込んでください。
- ② スイッチ「入」を押す
・誘虫ランプが点灯します。
・ファンが回転し、風の力で虫ゲートのフラップが開きます。
- ③ スイッチ「切」を押す
・誘虫ランプが消灯します。
・ファンが停止し、虫ゲートのフラップが閉じます。
- ④ 電源から抜く
電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。



「入」…捕虫器起動
「切」…捕虫器停止

注記

電源コードを横に引っ張ってプラグを抜くと、プラグ先端が変形して使えなくなります。



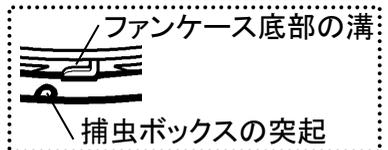
捕獲した虫の取出し方

- ① スイッチ「切」を押す。
ファンが停止し、捕虫ボックスの虫ゲートが閉じます。

※捕獲した虫が飛び出ることがあります。
室外など、虫が逃げても困らない場所までは、捕虫ボックスを外さないことをお勧めします。

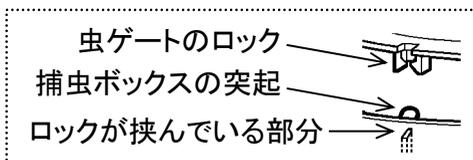
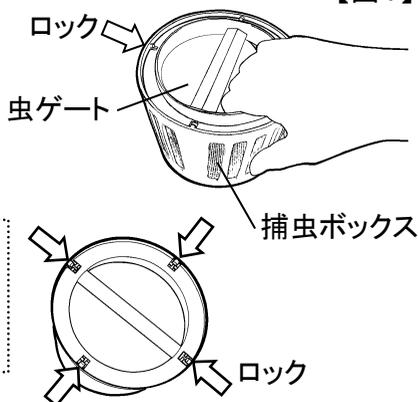
- ② 捕虫ボックスを外す。
片手でファンケース、もう片方の手で捕虫ボックスを持って、反時計方向に回すとロックが外れて捕虫ボックスを取外せます。

※吊下げている場合は、本器を下ろしてから捕虫ボックスを外してください。



- ③ 虫ゲートを外す。
虫ゲートは、捕虫ボックスの突起に押し込んでロックしています。
【図1】のように、虫ゲートのフチを引上げて、4か所のロックを外し、虫ゲートを取外してください。

【図1】



- ④ 捕虫ボックスの中の虫を取出します。
捕虫ボックスの網に付いた虫は、刷毛などで払います。【図2】ボックス内の汚れがひどい場合は、水洗いをしてください。

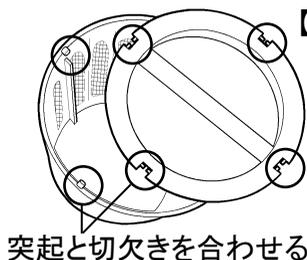
【図2】



捕虫ボックスを本体にセットする

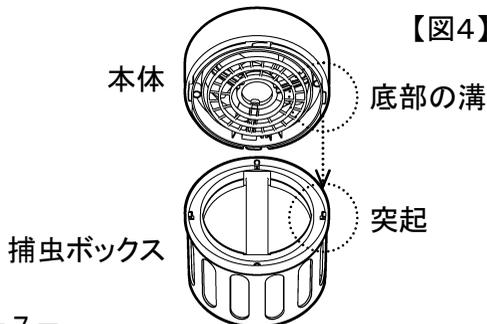
- ① 捕虫ボックスに虫ゲートをセットする。
捕虫ボックスの突起と虫ゲートの切欠き位置を合わせて、ロックが掛るまで押し込みます。【図3】正しくセットしないと、本体と接合できません。

【図3】

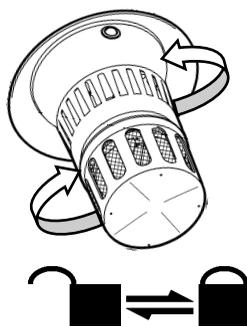
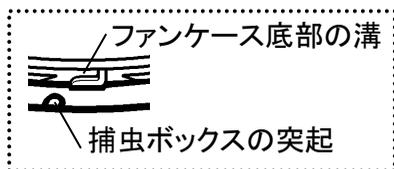


- ② 虫ゲートをセットした捕虫ボックスと本体をつなぐ。
本体底部の溝に捕虫ボックスの突起を合わせます。
【図4】

【図4】



片手で本体、もう片手で捕虫ボックスを持って、本体を時計方向に回すと捕虫ボックスの突起が本体底部の溝にロックして、セット完了です。



誘虫ランプの交換

誘虫ランプの寿命は、約6か月(約5,000時間)です。

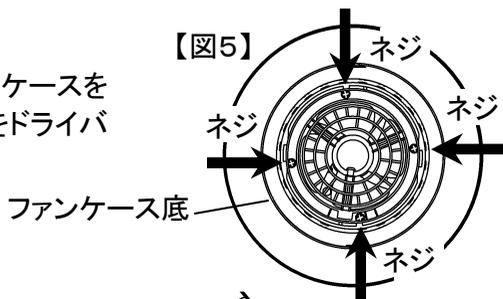
※ランプが点灯していても誘虫効果が低下していますので、2,500時間程度での交換をお勧めします。

使用状況(点灯状態や点灯時間)によりご判断いただき交換してください。

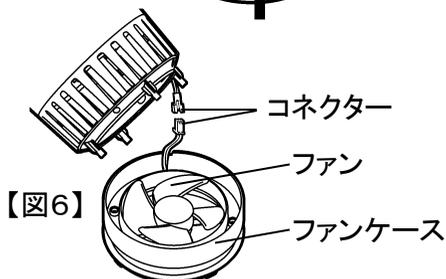
① 本器を運転停止する。
スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

② 捕虫ボックスを外す。
6ページの【捕獲した虫の取出し方】をご参照ください。

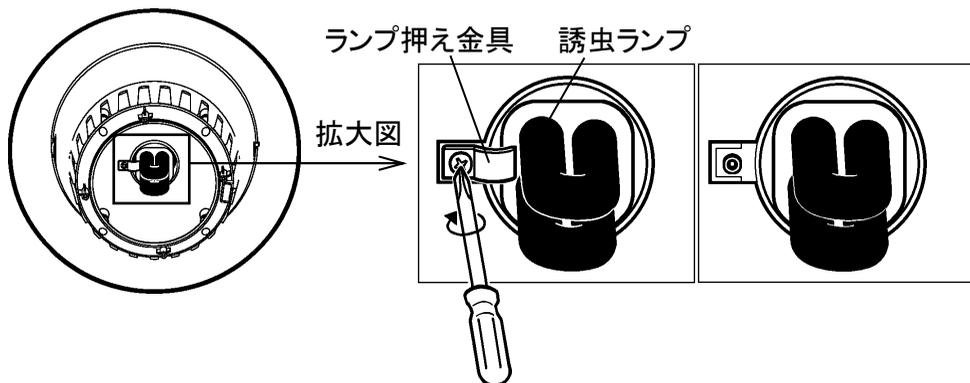
③ ファンケースを外す。
本体を上下逆にして、ファンケースを固定している4か所のネジをドライバーで外します。【図5】



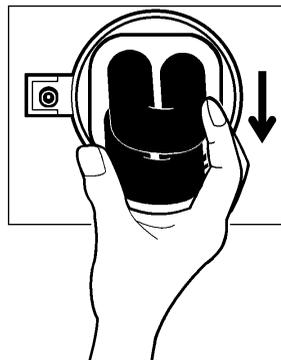
④ 配線コネクタを外す。
ファンと本体電気回路はコネクタで接続されています。コネクタの引っ掛けツメを押えて、コネクタを分断してください。【図6】



- ⑤ ランプ押え金具を外す。
誘虫ランプの抜け止めとして、ランプ押え金具で押えています。
金具を固定しているネジを緩めて、金具を誘虫ランプから外してください。



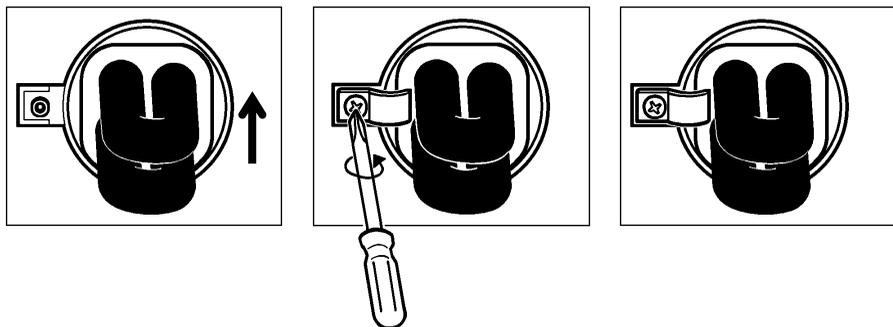
- ⑥ 誘虫ランプを引抜く。
誘虫ランプは差込み式です。
誘虫ランプを持って引抜いてください。



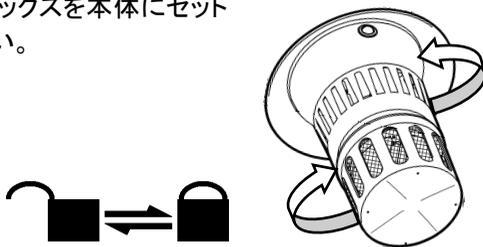
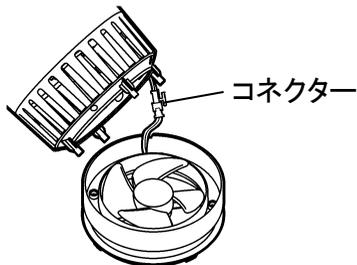
《誘虫ランプの取付けと本体組立て》

上記の逆手順で組立ててください。

- ① 誘虫ランプを差込み、ランプ押え金具でランプを締付けて、誘虫ランプを完全に組付けてください。



- ② 配線コネクターの端子の向きに注意して接続してください。
- ③ 配線を挟まないようにファンケースをはめて、ネジ4か所で組付けてください。
- ④ 誘虫ボックスを本体にセットしてください。
※7～8ページ【捕虫ボックスを本体にセットする】をご参照ください。



使用後のお手入れ

⚠ 注意



強制

お手入れの際は、必ず電源を切る。
* 火災、感電、ケガなどの原因になります。

注記

石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

- ① 捕虫ボックスの金網を点検して、目詰まりしていたら掃除をしてください。損傷がある場合は、捕虫ボックスを交換してください。
- ② 絞ったきれいな雑巾などで捕虫器外側のほこりや汚れを拭取ります。
- ③ 屋内の清潔で乾燥した場所に保管してください。



安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。
※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。

修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは変形したりグラついたりしませんか？	電源コードの交換が必要です。
捕虫ボックスの網が目詰まりしていませんか？	網を掃除してください。
捕虫ボックスは変形したり割れていませんか？	捕虫ボックスの交換が必要です。
ランプカバー、ファンケース、捕虫ボックスを正しく組立っていますか？	正しく組立ててください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったらときは、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
●ファンが回らない	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
●誘虫ランプが点かない	ランプの寿命が切れていませんか？	ランプを交換してください。
●正常に動作しない	ファンケース、捕虫ボックスを正しく取付けていますか？	正しく取付けてください。
	誘虫ランプの寿命が近付いています。	ランプを交換してください。
	捕虫ボックスの網が目詰まりしていませんか？	捕虫ボックスの網を掃除してください。
	捕虫ボックスやファンケースにひびが入ったり、変形していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

仕様

品番	NMT-15B1LG
電源	100V
消費電力	12W
有効面積	60m ²
電源コード	長さ5m
本体寸法	幅258×奥行258×高さ320mm
標準質量	1.2 kg
防水保護等級	IPX4
備考	二重絶縁構造

●付属品：60cmステンレスチェーン1本、取扱説明書

別売消耗部品・補修対応部品のご案内

⚠ 注意



当社純正品以外の消耗品は使用しない。

*機能部品です。当社純正品以外の消耗部品を使用すると、特性が合わず故障や事故の原因になります。必ず純正品をご使用ください。
セットの仕方、取扱上の注意などは、本取扱説明書をご参照ください。

《別売消耗部品》

【捕虫器専用部品】

※他のランプは
使用できません。

誘虫ランプ



《補修対応部品》

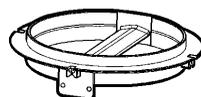
ランプ押え金具 (ネジセット)



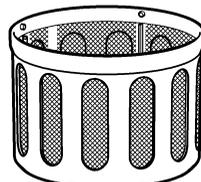
モータ・ファン組品



虫ゲート



捕虫ボックス



製品保証書（持込修理）

製品保証期間	本体 お買い上げ日より1年間		
※お買い上げ日	西暦	年	月 日
品番 NMT-15B1LG			
※お客様	〒 _____ TEL _____		
	ご住所		
	お名前		様
※販売店	所在地 〒 _____		
	店名		◎ 印
	TEL _____		
※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。			
<p>本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。</p> <p style="text-align: center;">無料修理規定</p> <ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。 <ul style="list-style-type: none"> (A) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。 (B) お買い上げ後の落下等および輸送上の故障および損傷。 (C) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変や異常電圧などによる故障および損傷。 (D) 一般的な用途以外に使用された場合の故障および損傷。 (E) 本書のご提示がない場合。 (F) 本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。 ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。 ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。 本書は日本国内においてのみ有効です。 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。 <p>☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。</p>			